

◆まちと水辺に豊かな自然をⅡ 多自然型川づくりを考える

1992年発行（185P）

編集：財団法人リバーフロント整備センター

多自然川型づくりについて、その考え方や整備の事例を中心に「多自然川づくりとは何か」を以下の構成でわかりやすくまとめた図書です。

第1編 川とそこにすむ生物の営み

第2編 多自然川づくりの考え方

第3編 多自然川づくりの事例

第4編 多自然川づくりを進めるにあたっての課題

【目次】

I 川とそこにすむ生物を見る

- | | |
|------------------|----|
| 1. 川を見る | 2 |
| 川の形を見る | 2 |
| (コラム) わが国の河川特性 | 14 |
| 瀬と淵を見る | 16 |
| 水環境を見る | 20 |
| (コラム) 正常流量と環境基準 | 23 |
| 2. 川にすむ生物を見る | 24 |
| 川にすむ生物 | 24 |
| (コラム) 植物動物 | 29 |
| (コラム) 川にすむ生物の調査法 | 32 |
| 川の魚 | 33 |
| 川の植物 | 46 |
| 川の鳥 | 56 |
| その他の川の動物 | 67 |

II 生物にやさしい川の姿／多自然型川づくりを考える

- | | |
|----------------------|----|
| 1. 多自然型川づくりの理念と背景 | 78 |
| 2. 海外における多自然型川づくり | 80 |
| スイスやドイツにおける多自然型川づくり | 80 |
| カナダにおける遡河回遊魚のための川づくり | 83 |
| 3. 伝統的河川工法 | 86 |
| 4. 多自然型川づくりを考える | 94 |
| (コラム) ビオトープ | 97 |

(コラム) 河道内の樹木	98
Ⅲ 多自然型川づくりの事例	
1. 自然に近い河道をつくる	100
川らしい屈曲や膨らみのある低水路法線を工夫する	100
緩やかに勾配の変化する河岸斜面をつくる	104
とろ(澗)を淵に変える	106
河床に石を置く	107
ベーン工を活用してソフトな護岸にする	110
2. 魚にやさしい川をつくる	112
魚にやさしい落差工	112
魚にやさしい魚道をつくる	113
(コラム) 多種多彩な魚道	118
魚道に魚を誘導する	119
捨石で多孔質な護岸をつくる	120
ワンドをつくる	122
魚のすみやすい河床をつくる	125
魚にやさしい魚巣ブロックを工夫する	127
(コラム) 厳しい自然	129
3. 昆虫や鳥にやさしい川をつくる	130
ホタルのすみ川をつくる	130
トンボのすみ川をつくる	133
鳥にやさしい川をつくる	135
(コラム) ヤナギのいろいろ	137
4. 植生に富む川をつくる	138
水辺のヨシを保全する	138
堤防を植生で覆う	141
護岸を植生で覆う	143
(コラム) モグラと菜の花	145
高水敷に野草を植える	146
5. 伝統的工法を活かして川をつくる	148
蛇籠を活用する	148
柳枝工を活用する	152
沈床を活用する	156
水制を活用する	158
牛柵を活用する	160

IV 多自然型川づくりを進めるにあたって	・・・・・・・・・・	163
参考資料 スイスの多自然型河川工法 — Christian Goldi -	・・・・・・・・	167
参考文献	・・・・・・・・・・	183
あとがき		